

令和8年度版 音楽 年間指導計画 3年生

期	配当 時数 例	題材	教材	題材で取り扱う 主な〔共通事項〕	取り扱う指導事項	題材の目標
1 学期	前期	4	曲の形式を生かして歌おう	「花」「荒城の月」	リズム、旋律、強弱、 形式	表現 歌唱 イ(ア)、ウ(ア) ア 【知】「花」「荒城の月」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(評価:ワークシート、実技試験) 【思】「花」「荒城の月」のリズム、旋律、強弱、形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。(評価:ワークシート、実技試験) 【態】「花」「荒城の月」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。(評価方法:日頃の取組、ワークシート、実技試験)
		3	言葉の特徴を捉えて表現しよう	「言葉のリズムや抑揚を生かして表現してみよう」	リズム、テクスチュア、構成	表現 創作 イ(イ)、ウ ア 【知】言葉のリズムや抑揚の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解する。【技】創意工夫を生かした表現で音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。(評価:ワークシート、実技試験) 【思】リズム、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。(評価:ワークシート、実技試験) 【態】言葉のリズムや抑揚を生かした創作表現に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組む。(評価方法:日頃の取組、ワークシート、実技試験)
		3	曲想を感じ取り、音楽の背景を理解して鑑賞しよう	「ブルタバ(モルダウ)」「交響詩「フィンランディア」	音色、リズム、旋律、強弱、構成	鑑賞 イ(ア)(イ) ア(ア) 【知】「ブルタバ」「フィンランディア」の曲想と音楽の構造との関わりや音楽の特徴とその背景となる文化や歴史について理解する。(評価:ワークシート、筆記試験) 【思】「ブルタバ」「フィンランディア」の音色、リズム、旋律、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、社会における音楽の意味や役割について考え、よさや美しさを味わって聴く。(評価:ワークシート、筆記試験) 【態】「ブルタバ」「フィンランディア」の曲想と音楽の構造との関わりや音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、オーケストラの豊かな響きに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。(評価:ワークシート、筆記試験)
	後期	6	曲の特徴を捉えて、ふさわしい声で歌おう	「合唱祭自由曲」	音色、リズム、速度、 旋律、強弱	表現 歌唱 イ(イ)、ウ(ア) ア 【知】「合唱祭自由曲」の声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付ける。(評価:ワークシート、実技試験) 【思】「合唱祭自由曲」の音色、リズム、速度、旋律、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。(評価:ワークシート、実技試験) 【態】「合唱祭自由曲」の声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。(評価方法:日頃の取組、ワークシート、実技試験)
		5	ギターの基本的な奏法を身に付けて表現を工夫しよう	▶ギター 「アニー・ローリー」 「Happy Birthday to You」	音色、旋律	表現 器楽 イ(イ)、ウ(ア) ア 【知】ギターの音色と奏法との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かした表現で演奏するために必要な右手の使い方や左手の運指などの技能を身に付ける。(評価:ワークシート、実技試験) 【思】「Happy Birthday to You」「アニー・ローリー」の音色、速度、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい器楽表現を創意工夫する。(評価:ワークシート、実技試験) 【態】ギターの音色と奏法との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に器楽の学習に取り組む。(評価方法:日頃の取組、ワークシート、実技試験)
		3	オペラの豊かな表現を鑑賞しよう	オペラ「アイーダ」から第2幕 第2場	音色、旋律、テクスチュア、構成	鑑賞 イ(イ) ア(ア)(イ) 【知】「アイーダ」の曲想と音楽の構造との関わりや音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。(評価:ワークシート、筆記試験) 【思】「アイーダ」の音色、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、舞台表現における音楽の役割について考え、「アイーダ」のよさや美しさを味わって聴く。(評価:ワークシート、筆記試験) 【態】「アイーダ」の曲想と音楽の構造との関わりや音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。(評価:ワークシート、筆記試験)
		3	言葉の特徴を捉えて旋律をつくろう	「CMソングをつくろう」	リズム、速度、旋律、 構成	表現 創作 イ(ア)、ウ ア 【知】音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴を理解する。【技】創意工夫を生かした表現で旋律や音楽をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。(評価:ワークシート、実技試験) 【思】リズム、速度、旋律、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、まとまりのある創作表現を創意工夫する。(評価:ワークシート、実技試験) 【態】音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴を生かした創作表現に関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習に取り組む。(評価:ワークシート、実技試験)
		3	歌舞伎の豊かな表現を鑑賞しよう	歌舞伎「勸進帳」 長唄「勸進帳」をうたおう	音色、リズム、旋律、 テクスチュア、構成	鑑賞 イ(イ) ア(イ) 【知】歌舞伎「勸進帳」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。(評価:ワークシート、筆記試験) 【思】歌舞伎「勸進帳」の音色、リズム、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、歌舞伎「勸進帳」のよさや美しさを味わって聴く。(評価:ワークシート、筆記試験) 【態】歌舞伎「勸進帳」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。(評価:ワークシート、筆記試験)
		2	文楽の豊かな表現を鑑賞しよう	文楽「義経千本桜」から二段目 大物浦の段	音色、リズム、旋律、 テクスチュア、構成	鑑賞 イ(イ) ア(ウ) 【知】文楽「義経千本桜」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解する。(評価:ワークシート、筆記試験) 【思】文楽「義経千本桜」の音色、リズム、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、文楽「義経千本桜」のよさや美しさを味わって聴く。(評価:ワークシート、筆記試験) 【態】文楽「義経千本桜」の音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。(評価:ワークシート、筆記試験)
3 学期	4	曲想を感じ取り、曲の特徴を生かして合わせて歌おう	「旅立ちの日に」 「ぜんぶ」	リズム、速度、旋律、 テクスチュア、強弱、 構成	表現 歌唱 イ(ア)、ウ(イ) ア 【知】「旅立ちの日に」「ぜんぶ」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解する。【技】創意工夫を生かし、全体の響きや各声部の声などを聴きながら他者と合わせて歌う技能を身に付ける。(評価:ワークシート、実技試験) 【思】「旅立ちの日に」「ぜんぶ」のリズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫する。(評価:ワークシート、実技試験)	

期	2	多様な芸能や音楽の表現を鑑賞しよう	「世界のさまざまな芸能や音楽」	音色、リズム、旋律	鑑賞		【態】「旅立ちの日に」「ぜんぶ」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わり、声部の役割と全体の響きとの関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に歌唱の学習に取り組む。（評価：日頃の様子。ワークシート、実技試験）
						イ（イ）（ウ）	【知】世界のさまざまな芸能や音楽の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解する。（評価：ワークシート、筆記試験）
						ア（ウ）	【思】世界のさまざまな芸能や音楽の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、芸能における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、よさや美しさを味わって聴く。（評価：ワークシート、筆記試験）
							【態】世界のさまざまな芸能や音楽に関心を持ち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に鑑賞の学習に取り組む。（評価：ワークシート、筆記試験）